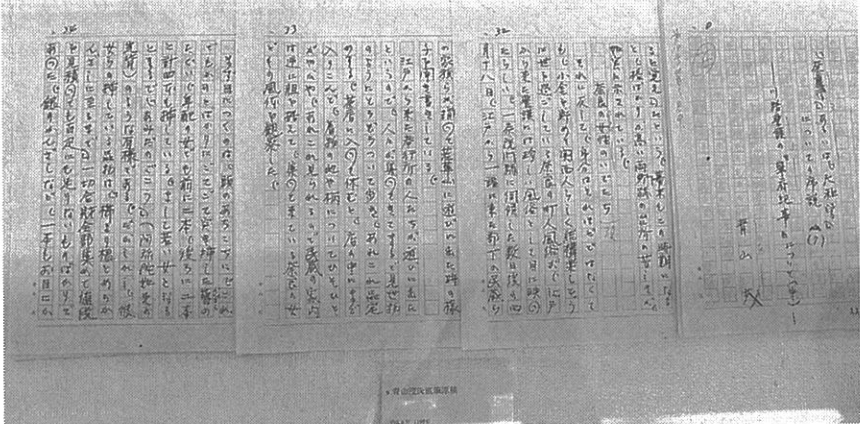


帝塚山大特別展

「奈良学」の歩み紹介

生みの親 原稿や遺品など



公開されている青山茂名誉教授の直筆原稿＝奈良市帝塚山7の帝塚山大学奈良・東生駒キャンパス図書館

帝塚山短期大学名誉教授の故青山茂さんが提唱した「奈良学」の歩みを振り返る特別展示「奈良学の軌跡展 萌芽期から黎明期、そして発展へ」が、奈良市帝塚山7丁目の帝塚山大学奈良・東生駒キャンパス図書館で開かれている。20日まで。

約500枚のうち約60枚を展示。取材で得た情報が細かく記され、自身の考えを整理するときに並べて使われた。テーマは地域や時代のほか人物に関するものも多く、新聞記者出身らしい青山さんの視点がかがえる。

また幕末の奈良奉行、川路聖謨(としあきら)を論じた青山さんの直筆原稿も出陳。誤字脱字が少なく、推敲(すいこう)の乱れがないことが驚かされる。

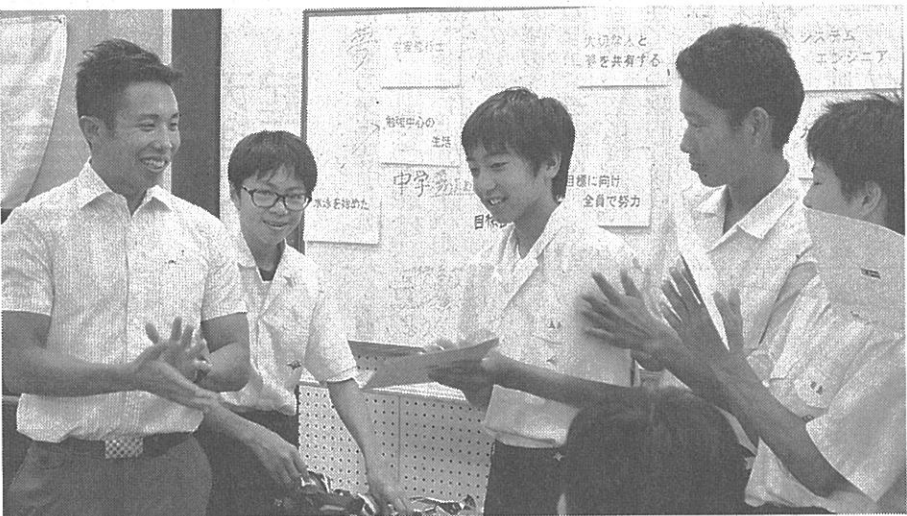
このほか奈良時代の称徳天皇が発願した小型の法舍利塔「法隆寺百万塔」や、明治(1875)年に東大寺大仏殿で開かれた「奈良博覧会」の物品目録など、同大の奈良学コレクションの一部も並び。

さらに文部科学省の助成を受けた奈良学研究の現状も紹介。帝塚山大学の服部敦子講師は「多くの研究者が取り組む奈良学を一般の人にも知ってもらいたい」と語り、奈良の地域おこしにつなげたいと話す。

観覧無料。午前10時から午後4時開館。日曜、祝日休館。問い合わせは、京都府京田辺市立生駒東小学校で交通安全教室を開くなど、コンサートを開くなど、コンサートの一部も並び。

仲間の力 夢かなえる

東京パラ期待選手 競泳・富田さん授業



富田さん(左端)に自分の夢を語る生徒。11日、王寺町富田の王寺南中。

声援で立ち直ったことに触れ、「自分だけでは実現が難しい夢も、仲間と共有すれば可能になる」と強調した。このあと生徒は、それぞれ夢を発表。富田さんは「これを契機に、きょうから夢への行動を始めよう」と語り掛けた。

成戸(なるしん)さんは「かないそうにないと思っていた自分の夢も、話を聞いてかなうかも知れないと思直した」と納得。轟健照さん(14)も「夢をかなえるために努力したことが伝わってきた。自分も勉強をして、中学校の先生になりたい」と話した。

生駒ロータリークラブの川上泰秀会長、津田忠徳副会長、中谷裕二良奉仕プロジェクト委員長、乾賀世子幹事が11日、新任あいさつで奈良新聞社を訪れ、甘利治夫代表取締役と歓談した。



川上会長は幼稚園から小学校に上がる6、7歳の児童に最も交通事故が多い。今年は交通安全啓蒙教育プログラムを作って全国の手本となりたい」と抱負を語る(左から)川上泰秀会長、津田忠徳副会長、中谷裕二良奉仕プロジェクト委員長、乾賀世子幹事＝11日、奈良市法華寺町の奈良新聞社

実体験交えエール贈る

王寺南中2年生60人へ

王寺町富田9丁目の町立王寺南中学校(米谷幸校長)で11日、東京パラリンピックの競泳でメダルが期待されている、富田宇宙さん(29)の授業が行われた。富田さんは2年生約60人に、夢に向かって努力することの大切さを語った。

日本サッカー協会) 難病にかかったが、平成27年の身体障害者水泳日本選手権では400メートル自由形と、1000メートルバタフライでアジア新

記録を出して優勝した。授業では、生徒同士が協力して課題をクリアするゲームを体験した後、富田さんが講演。高校の水泳部や大学のダンス部の活動で、周囲の仲間助けられながら目標を達成した経験を紹介した。また病気のため、一時目標を見失った時にも仲間の

15日山添で「歌と舞踊の祭典」

豊かな自然で交流会

豊かな山里で都会の人々との交流を図る「チャリティ2018 大和高原歌と舞踊の祭典」(同祭典実行委員会主催、奈良新聞社後援、利華会社中協賛)が、15日午前9時半から、山添村大西の同村ふるさとセンターで開かれる。

今年で14回目。同村内の歌謡愛好者や県内各地の歌仲間、本社主催のカラオケ大会で入賞した皆さんら約140人が歌や踊りを熱演する。

租税事業へ感謝状

尾川会長ら



尾川欣司会長(左)から感謝状を手渡される甘利治夫代表＝11日、奈良市法華寺町の奈良新聞社

市立生駒東小学校で交通安全教室を開くなど、「従来とはひと味違った奉仕活動をしていく」ことを紹介した。

往来

12日

【県政】 荒井知事＝午前県外出張、午後出張、午後出張。松副知事＝県外出張、午後出張。田中知事＝午前出張、午後出張。田中知事＝午前出張、午後出張。田中知事＝午前出張、午後出張。